

マザーハウス

たより

**あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。
あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。**



絵：光りんさん

2023

8 月号

- | | |
|---------------|-------------|
| 2 理事長挨拶 | 16 福音たより |
| 4 塀の中のたより | 21 育児日記 |
| 10 ささきみつおコーナー | 22 ラブリー DAY |
| 12 健康相談窓口 | 23 お知らせ |
| 14 プリズムアート倶楽部 | |

理事長挨拶

マザーハウスは、何のために、何をする団体なのか改めて考えてみました。「何のために」ということについては、当法人のホームページにも書いてある通り、「（加害者の）更生改善・社会復帰支援・就労支援・相談支援・講演会等でそれらを普及啓発する」ことです。「何を」については、今行われている具体的な活動になっていくと思います。では、なぜ行うのかということに注目してみます。大目的は平和の実現、その手段の一つが犯罪温床の除去、さらに当法人が特に力を入れている再犯防止、そこから様々な活動が発生していきます。

その動機は、为什么呢。地位や名誉のためでしょうか？非難を受けるほうが多いくらいです。富でしょうか？利用者が増えれば経費はかさみますが、それに比例して収入が増えるわけではありません。かえって大変になることもあります。コーヒーや紅茶の販売はそんな活動を継続させるためのものです。権力でしょうか？思い当たる言葉がありません。ただ当法人とは無縁であるただけ申し上げます。では、何のためにこれらの活動を行っているのでしょうか。実は、すべてが愛から出ているということに気付かされます。ほかに説明はできません。では、愛とはどういうものでしょうか？私の知る限りでは、愛について最も言及しているのは新約聖書です。特

にこの部分が、マザーハウスの活動の理解を深めてくれます。

「父（神）は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。」（マタイによる福音書／05章45・46節）

前月も書きましたが、加害者支援による再犯防止や社会復帰は、犯罪の温床除去、被害者も減らす、財政の改善、労働人口の増加など多くの良いことをもたらします。しかし、それらはすべて目に見える形で愛が結んだ実です。また、マザーハウスの活動も同様、愛から出た実なのです。私たちも、くれぐれもこの実⇨手段と目的⇨愛がひっくり返らないよう気を付けたいと思います。なぜなら、活動や法人を守るために、愛を蔑ろにする可能性があるからです。愛を実践する手段としてあるのがマザーハウスです。もし愛の妨げになるようならば、その存在意義は、ありません。

ところで、愛について補足しますが、愛するとは甘やかすということとは異なります。例えば、甘いものばかりを欲しがる子供に、子供が喜ぶからと言って与え続ける親はいないでしょう。私たちの活動は、加害者を甘や

かすものではありません。愛することです。愛とはその人にとって、最善となるよう考えることだと思っています。それは、その人の思いや欲求と一致するとは限りません。しかし無理強いするものでもありません。やはり聖書でキリストも、あくまで誰にでも寄り添い、理解してくれるまで、ずっと一緒に歩んだと書いてあります（ルカによる福音書／24章 エマオ）。私たちは、間違える者であり、実際にバスト（最善）の実行はできません。ベターしかできませんので、ともに歩み一緒に解決していくことがより重要であると思います、また、それが愛であると考えています。

実は、私たちすべての人が愛によって生きているのです。自分の稼ぎで、しっかり税金も払っているから、自分の力だけで生きていると思う人もいるかもしれませんが。しかし成人するまでは、経済的なことはもちろん自分でできることはほぼありません。両親の愛により育ちます。また、警察や消防は、歩合でお金をとることはありません。役所も省庁も、医療保険も年金もすべての人が安心して暮らせるようにという愛の動機から発生している制度と言えるでしょう。すべてのインフラについても同様だと思っています。私たちができることは、ただ感謝することだと思っています。すべてにおいて感謝することです。もちろん私もできていませんが、心がけ、努力します。

最後に愛について、「たとえ私が、預言する力を持ち、あらゆる秘義とあらゆる知識に通じていても、また、山を移すほどの信仰を持っていたとしても、愛がなければ、無に等しい。また、全財産を人に分け与えても、焼かれるためにわが身を引き渡しても、愛がなければ、私には何の益もない。愛は忍耐強い。愛は情け深い。妬まない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、怒らず、悪をたくらまない。不正を喜ばず、真理を共に喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びません。」（コリントの信徒への手紙一／13章 02～08節）

マザーハウスはこのように活動をしているかと思っています。そして支援してくださっている皆様、忍耐強く。情け深く。妬まず。自慢せず、高ぶらず。礼を失せず、利益を求めないご支援本当に感謝しております。マザーハウスは愛の団体です。戦う団体ではありません。その対象は、加害者や支援してくださっている方や理解者だけではありません。仮に理解してくれない省庁、行政、団体があっても、個人の方でも、すべてです。私たちは、それらの方々とともに愛の忍耐によりいずれチームとなり、その叡智でより良いものを建て上げたいと考えています。戦いは焦土をもたらします。まずは、すべてのことに感謝することから始めようと思います。以上をもちまして、挨拶とさせていただきます。

マザーハウス 理事長 原田 昇

塀の中のたより

コロナ後の日常

丁刑 アフロ犬さん

全国同志の皆様お疲れ様です。そしてスタッフの皆様、ボランティアの皆様いつも大変お世話になっております。この場を借りて日頃の感謝を伝えさせて下さい。

政府がコロナ感染症5類に引き下げた都合上、ようやく刑務所での感染対策も緩和の方向へと動き始めました。当所でもマスクの着脱が個人の判断となり、3年ぶりにマスクの無い光景を目にする機会も出て来ましたが、何か違和感を覚えます。3年という期間はそれだけマスクを日常に定着させました。そしてコロナに苦しめられました。感染者が出る度に隔離され、2カ月工場が止まったこともありました。慰問などの行事は全て中止され、工場対抗のスポーツ大会も問答無用に中止となってしまうました。運動会だけは毎年試行錯誤しながら実施していましたが、応援禁止や規模縮小など通常開催にはほど遠い内容でした。その他でも工場内での囲碁、将棋が禁止されたり、新聞



受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙を紹介します。

の回覧を止められたり、様々なことで我慢を強いられて来ました。本当にストレスの多い3年間だったと思います。

しかし、ようやくコロナの呪縛から開放され、日常を取り戻しつつあります。3年ぶりにトーナメントによるソフトボール大会が帰って来ますし、永遠のアイドルペペによるスーパースライプまで発表されました。私の仲間には究極のアイドルオタクも存在するので、おとなしく参加していただけるかどうか心配でなりません。いずれにしろ、最後の1年を迎えるこのタイミングで日常に戻るの嬉しいことです。楽しめる範囲で精一杯楽しみたいと思います。

あと、心配なのはウクライナ戦争などによる物価上昇です。日用品も次々に値上がりし、コード表の差し替えが止まりません。お菓子の値段が上がっているのに集会の金額は変わらないから質だけが落ちる一方です。日常の食事の献立なんて信じられないくらい悪化しています。世の中が物価上昇の流れなら、国の予算を上げるなり集会の金額を上げるなり対策すべしと思いませんか！？それ

で私達の楽しみが奪われたり、我慢しなければならぬ事態に陥るとするのは絶対違うと思います。

昔は刑務所の処遇に不満があれば面接制度があり、申し立てることが可能でした。けど今の刑務所にはその制度すらありません。私は以前、受刑者に籠絡されて不正を実行し、その後懲戒免職となった馬鹿に名前を出されて調査になり、懲罰は免れたものの転業させられるという理不尽な経験もしています。当然その馬鹿を許していませんし、その時の刑務所の対応にも納得していません。残刑1年となった今、この問題にどう対処すべきか悩んでいる所なのですが、皆様の知恵を貸していただけないでしょうか？よろしくお願いします！

コロナがようやく終わりがけたと思ったら物価高騰が襲って来て、ストレスばかりの受刑生活ではありませんが、当初では1つだけ良い面もありました。揚げ物や牛肉が消えた一方で価格の低い小豆メニューが増加したのです！娑婆では認められないでしょうが、刑務所ではこれで良いのだー！！

最近私の掲載回数が増えてアフロ犬ファンが増加中の噂もありますが…同志のみなさん！取り戻した日常を楽しみましょう。

更生に対する私の考え

〇刑 Tさん

「更生」について私がどのように思っているかについて述べてさせて頂きます。

私もドクターKさんと同じく「素直」、「正直」、「忘れない事」は大切な事と思い、その様に行じています。

毎朝夜明けと共に、ドン・ボスコ社いのりの手帖を47ページまで、ミサ式次第の前まで、黙読もしくは小声で読みます。特に11ページの「神のゆるしを願う祈り」の12ページからの部分を特に心を込めて読むようにしています。抜萃しますと、

しかし、わたしは自分中心に生きてあなたの愛に背き、あなたと兄弟に対して罪を犯しました。どうか聖霊を豊かに注いで私の罪を赦し、回心の恵みをお与えください。これからはキリストに従って生きる者となり、真の愛を実践することができまようように。
アーメン

そして福音書を1章読みます。岩波文庫の福音書ですと章ずつですが、財団法人国際ギデオンの協会の新約聖書ですと、2ページずつくらいで良いと思います。

朝、夕祈りと、新約聖書の読誦を行ない、真面目に行じ

ていると、聖霊様の働きで、不思議な事が起きる筈です。朝目覚めて、白いタオルを見ると、赤いハート型マークが規則正しく同じ形で並んでいました。一瞬の事で、2年前の事ですすが覚えています。

5月は母の命日月で、私は自分勝手な理由で母を殺め、刑に服しています。5月28日に不思議な事が起こりました。私は母と共に妙法蓮華経を信仰していましたが、私は真剣に行じてはいませんでした。刑務所に入ってから、真面目に行じるようになりました。

5月28日、午後3時15分頃、妙法蓮華経の懺悔経である行法経を誦していると、1匹の黄金虫と思われる虫が、私の横に居るのに気づきました。背の色は緑色で長さ1cm程の小型の虫でした。部屋は通風孔も閉めているし、窓側の通風孔も閉めていました。私は、窓の金網が、端の方が破れて開いていると勘違いして、その虫を窓側に持って行き、右中指で弾くと、窓のレールの所にクモの巣があり、そこに引掛ってしまいました。小グモが出て来て右往左往していました。私は行法経を誦する為にその場を離れ、座布団に坐り、誦していました。10分後、読誦を終了し、その窓側に寄って見ると、虫と小グモが居ない。あれから6日経ちましたが、どこにも居ません。金網は破れていませんでした。完全密閉でした。私の考えですが、「天に宝を積みなさい」というイエス様の訓えがありますが、黄金虫を私の元へ派遣す

ることによって、そしてそれを消することによって、努力しなさい、まだまだ努力しなさい、と励まして頂いたと思っています。

今月、5月末頃、2022年8月号 幸いな人（月間ディボーション誌）、80ページ、81ページの「ささきみつおの一期一会」の中に、「クリスチャニティの本質は、キリストの教えではなく、キリスト自身である」世界の仏教の碩学、鈴木大拙師はこう言っている。

官本に鈴木大拙師の本があって、私も一冊だけ読みましたが、南無阿弥陀仏の方を推している。一部を抜萃すると、

アミダさまよ。どうぞ自分の煩惱を皆取って下さるな。これがないと、あなたのありがたさが分かりませぬ。

人間は煩惱に責められる娑婆に永らえて「不自由」のなかに自由自立の働きをしたいのだ。ここに人間の価値がある。人間には自分の自由と不自由とを自覚し分別し煩惱（はんのう）する自由がある。これは他の如何なる存在にも見られぬところである。その上、その分別性の故に、他の自由を尊重し、他の不自由を共感する。

この故に、人間を他の生物に比べて見てばかり居られなくなる。弱肉強食とか適者生存とか優勝劣敗など云う生物界の現象を見て、人間も生物だから、それでもよいのだと云う人がある。地獄はこのような人々の為に、用

意せられあるのだ。

この辺りで終わらせて貰います。
ドクターKさんの精進を祈っています。

一緒に考えていただきたいこと

K刑 明石焼きさん

スタッフの皆様 お世話になってます。「悠遠の人 高山右近」有難く読ませていただきます。本まで差入れて頂き感謝です。5月号「堀の中のたより」の「更生とは？」を読んで6月号の返答に「人道から外れてしまった人が二度と道を踏み外さぬように持ち続けなくてはいけない自戒の念」とあり、これだと同感しました。甚好きのパバさんに私も救済してもらった思いで感謝しています。全国の同志の皆様にも感謝します。

ウクライナ戦争・物価上昇で刑務所の日用品も値上げばかりで報償金も上げて欲しいです。給食も牛肉メニューが豚や鶏に変わったり、朝食の卵焼きがなくなり、7月・8月のアイスクリームが今年はチューペットになってしまっています。法



受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙 - つづき -

務省の予算で刑務所は運営されてるので物価上昇分の予算増額がされてないのだなと思ってます。私の体重が去年から4キロ減ったのはたぶんこれらの原因です。

先日、読売新聞の記事に、ある刑務所の刑務官が特別公務員暴行陵虐罪で送検。所長も処分。計33人嚴重注意と載っていました。収容者の顔をたたくななどの暴行計99回、暴言を浴びせるなどの不正行為が400件以上。(2021年11月〜2022年9月までの間)

法務省 花村博文 矯正局長は「矯正行政への信用を著しく失墜させ、誠に遺憾。深くおわび申し上げる」とコメントしていました。6月22日に諮問機関が法務大臣に「巡回する刑務官に小型力メラを装着させること。受刑者の呼び捨て廃止など」提言書を提出しています。人権侵害や収容者の更生改善はマザーハウスの支援活動であると記されてるので、ぜひ支援して欲しいです。

この刑務所の事件が公表された同時期に、その刑務所の共同室棟3棟を解体し単独室棟に建て替えるため、懲罰を受けた収容者達からB級刑務所に集団移送しています。私のいる刑務所にもこの移送で来た人がいて、さっそく当所で懲罰を受けていました。彼等に話を聞くとほとんど昼夜間

居室棟での事件だとのことで、私のいる刑務所の昼夜間居室棟での違法な保護室収容事件のほうにエグいです。

当所の昼夜間居室棟の2階・4階には廊下の上に均等間隔で集音マイクが設置されていたり、各居室前の上に感知センサーが設置されていて、職員と収容者の会話は録音されており、客観的な証拠が残るので安全です。逆に1階と3回では収容者が大声など発してないのに刑務官の裁量・主観で非常ベルを押し、「制止に従わず大声を発し続けました」と虚偽報告する違法な保護室収容が多発し、危険です。私が被害を受けた件は検察に告訴し、刑事施設視察委員会にも報告しています。

私は読売新聞社会部に通報すべきか悩んでいます。皆様の意見が聞きたいです。G刑務所の昼夜間居室棟では10年程前から刑務官に小型カメラとボイスレコーダーが装着されると同僚から聞きました。他のB級刑務所ではどの様に収容者の安全が確保されているのか知りたいです。一部の不良刑務官がロックオンした収容者に執拗に絡んで罪をでっち上げ保護室に収容し、この件で懲罰まで課す。エグいです。税金で運営されている刑事施設は更生のためにはあるはずで。矯正局長、矯正行政の信用失墜は読売新聞の記事にあった刑



受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙 - つづき -

務所だけの問題ではありませんよ。公権力の乱用です。皆様の意見が聞きたいです。

その刑務所の刑事施設視察委員会は去年、刑務所側に全ての昼夜間居室棟のフロアーの廊下に集音マイクを設置するよう意見書を提出していると言っていました。刑事施設及び被収容者の処遇に関する規則6条2項で「所長はできる限り委員会が述べた意見を施設の運営に反映させるため必要な措置を講ずるよう努めること。」と記されているのですが対応が遅れています。これも所長権限なのでしょうか。刑務官から暴行・虐待されたら、刑期から差し引いてくれませんか。恩赦のようなことを立法府で議論して欲しいものです。

前回歯科治療のアンケートが同封されていました。私のいる刑務所では外部から歯科医が来る程度のことは治療してくれます。ですが、歯石がとれず、歯茎から出血するので歯石除去を頼んだところ、この刑務所では歯石除去はやってないと歯科医に断られました。刑事収容施設及び被収容者等に関する法律56条では「健康を維持するため、社会一般の保健衛生及び医療水準に照らし適切な措置を講じること」と定められています。ですから、歯石除去をしてくれないことは法律違反だと思っています。

感謝

〇刑 ドクターKさん

たより6月号にて、私の拙い文章に反応して投稿しア
ドバイスを下さったN刑碁好きパパさん、I刑Hさん、
本当に本当にありがとうございます。たよりを読んで、
碁好きパパさんの文はとても分かりやすく、そういった
考え方もあるのかと考えさせられました。ガーデニング
の例えは非常に分かりやすく、何度も何度も読み返し
ました。また、Hさんの文の中で、「自然体で自分らしく
自分の思いを大切にして生活してみる」とあり、こんな
私でも自然体で生活してみても良いんだなと思い、最後
の励ましの言葉にはウルッときました。嬉しかったです。
ありがとうございます。懲役生活の先輩方のお言葉は
とても重みがあります。私自身立ち直るための糧として
是非参考にさせていただきます。

また、自分の事で何か悩んだり苦しんだりしているの
ならば、マザーハウスさんのたよりを通して打ち明けて
みて欲しいと、この場を借りて声を大にして言わせて下
さい。マザーハウスさんを通して全国で繋がっている仲
間が素晴らしい回答を下さります。思いを共有した
り、考えをぶつけ合ったりする事で答えが見えてくる事
もあります。答えが見えなかったとしても、モヤモヤし
た気持ち晴れる事もあるでしょう。

また、顔も素性も知らない人の悩みに対して真剣に向
き合って答えて下さる人達がマザーハウスさんが築き上
げた輪の中にいて下さる事がとても心強く思います。仲
間がいるという事を思えばこれほど頼もしく思えるもの
はないでしょう。私もその仲間の1人です。今回は悩み
を相談した側ですが、悩み苦しんでおられる方の力にい
つでもなります。とはいってもまだまだ若輩者ですが：
(笑) 私自身もこれからまた色々な事に悩まされていく
と思います。その際はまたこのたよりを通して相談させ
ていただきますのでご指導ご鞭撻のほどよろしく願い
します。暑いですが、くれぐれも熱中症に気をつけてご
自愛下さいませ。ありがとうございました。



光りんさん

ちかきみとお「ナー」

証人になる

1 刑事被告人の証人になる

弁護士として民事・刑事裁判の証人尋問を数多く経験してきた。ある時、刑事裁判で被告人の情状証人として自分が証人台に立つことになった。初めての経験なので非常に緊張した。被告人とは長年の知り合いであったことから、彼の人となりの説明した後、「被告人と毎週一度は面会して被告人を補導します」と証言した。彼には前科があったので、通常であれば実刑のところだが、判決で執行猶予になった。弁護士だから偽証はしないだろうと裁判官に特別に信頼されたのかもしれない。このように証言の力は非常に大きい。

証人は事実について自分が知っていること、また他の人についての自分の評価を正直に述べなければならぬ。もし証人が意図的に虚偽の事実や虚偽の評価を述べるならば、偽証罪で罰せられる。また、証人が正当な理由なく証言を拒否した場合には証言拒否罪になる。

2 キリストの証人になる

「クリスチャンになっても良いが、人前で証しすることだけはやりたくない」

集会でクリスチャンの証を聞くたびにこう思った。なぜなら、「自分は証をするに値するほどの人間なのか」、「証をしたら皆から自分の言動が注目されて逃げ場がなくなってしまうのではないか」等と恐れたからである。

しかし、聖書には真の神を信じる者は神の証人であると書かれている。(イザヤ43:10、12)
また、キリストを信じる者はキリストの証人であるとも書かれている。(使徒1:8)

「人の前でわたしを拒む者を、わたしも天にいますわたしの父の前で拒むであろう」(マタイ10:33)とまで書かれている。

証人の任務は証言することである。神の証人は神について、キリストの証人はキリストについて、証言する責任がある。「自分がいかに社会に貢献したか」とか、

「自分がいかに立派な人物であるか」とかを証言するのではない。

私はキリストを信じてからも人前で証をすることを極力避けていたが、ついに、ある集会で証をせざるを得なくなった。やむを得ず、勇気を出してスピーチの前に自分の証を紙に書き、当日はその証の文書を棒読みした。ところが、意外にもそれが好評を博し、集会後に、「ぜひ知り合いに読んでもらいたいの、あなたの手書きの原稿の写しをいただけませんか」という方が現れた。その方がその写しを数十部コピーして配ったら、受け取った方々がさらにコピーして配っていると聞き、とても驚いた。

結局、その証がきっかけで、各種の新聞や雑誌に私の証が掲載され、ラジオやテレビに出て証をすることになった。当時、日本でも始まったばかりのインターネットに載せたところ、日本だけでなく海外にいる日本人からも反響があり、「聖書を読んでいます」、「教会に行き始めました」、「キリストを信じました」、「伝道者になる決心をしました」という報告が相次いだ。私が所属していた国際的法律事務所の弁護士や職員の何人もがネット上の私の証を読んでキリストを信じるに至った。

3 本当のキリストの証人は聖霊自身である

「父のみもとから来る真理の御霊が降る時、それはわたしについて証をするであろう」（ヨハネ15:26）

クリスチャンの証に力があるのは、聖霊の力によるのである。（使徒1:8）私も他のクリスチャンの証を聞いて聖霊の力により信仰を持った一人である。

聖書ではキリストの証人は殉教者をも意味している。証の影響力によりあまりにも多くの人々が信仰へ導かれていくために、反対する勢力から証人たちが迫害され弾圧されるのである。

ビジネスマンの伝道を目的にしたインターナショナルVIPクラブは証を中心にした社会人の伝道団体であるが、短期間に日本及び世界に200か所以上も支部ができた。これはまさに証の力である。

多くのクリスチャンが勇気をもって証していくならば、聖霊の力によって福音はあつという間に日本中に広がっていくと思う。

ささき みつお（弁護士）

看護師 中谷先生による 健康相談窓口

皆さま、こんにちは。

梅雨明けしましたね。いよいよ、夏本番がやってきました。
すでに、毎日 気温・湿度が高くてぐったりしますね。先日、私は熱中症の先取りをしました（笑）。



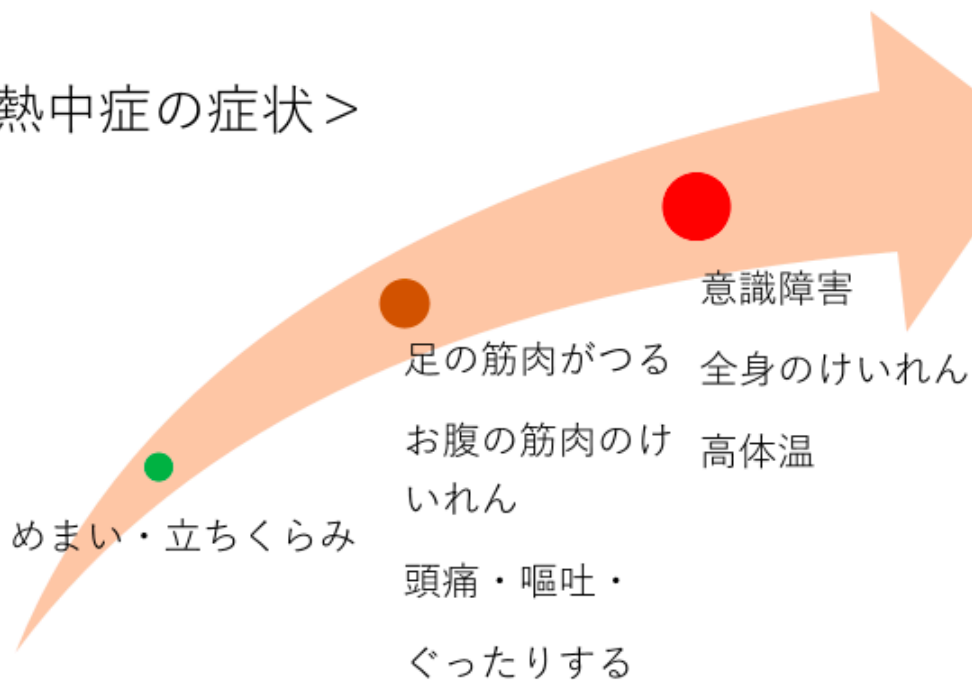
2日間、ずっと動悸（脈拍が常に100くらい拍動して）が続き、息苦しい状態が続きました。ちょうど、授業が立て込んでおり、水分を取っている時間が無かったのが原因だと思います。自宅にいても、横になっても動悸が治まりませんでした。心臓疾患は既往歴にはないので、自身の生活を振り返り、脱水が原因だと気が付きました。

水分を摂っていたつもりでしたが、足らなかったのですね。それ以降は、1時間ごとに水を100mlは必ず摂るようにしています。施設内環境は以前と比較して改善したとは聞いてはいますが、ご自身の身体の症状に耳を傾けてください。のどが渴いていなくても、水分は摂るように心掛けてください。数年前から、「身体を拭くことが認められるようになった」「チューチューを1本、毎日支給されている」などの話を伺っています。特徴的な夏対策をしている施設の状況を教えてください。

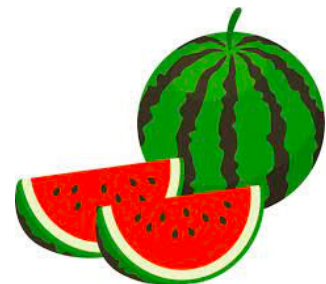
左図の症状は熱中症の症状の段階になります。めまいや立ちくらみの段階で気が付いていただけますと、悪化して、取り返しのつかない状態にはならないかと思います。皆さま、くれぐれもご注意ください。熱中症の症状がある場合は、黙っておかずに、担当者に必ず伝えてください。後になればなるほど、大変なことになります。また、同囚の方で下記の症状があった場合は、担当者に伝えてあげてください。目の前で人が倒れるのだけは避けていきたいですね。



<熱中症の症状>

重症

最近、畑作業にはまっています。5月の連休に食べたスイカの種を畑に埋めたところ、実をつけました。美味しいスイカが収穫できることを楽しみにしています。また、2月に埋めたにんじんの種5000粒が、現在すくすくと育ち、甘いにんにんに成長しました。毎週、草取りと収穫に明け暮れています。ただ、この暑さでの作業は危険ですので、早朝4時半から行っています。4時間内で作業はとどめておこうと思うのですが、つつい無理をしてしまうと、めまい・立ちくらみがして動悸が始まるので、マズイと自覚して、早めに退散するようにしています。あともう少しと思っても、無理はしないことが大切です。気候に左右される中、農業で生計を立てている方々のご苦労を痛感します。皆様、暑い夏を乗り越えていきましょうね。



(偶数月掲載) 専門インストラクター ニロ先生による

プリズムアート倶楽部

夏になると近くの遊園地にプールが有ったので、子供の頃に泳ぎに行った思い出が有ります。遊園地のお土産屋さんには、ハワイを想像させる様な、アロハと描かれたお土産に、プルメリアの花が描かれていました。水着にも、タオルにも、バッグにも、プルメリアが描かれていて、ハワイ風お土産と書いて有りました。ハワイって楽しそうだから、行ってみないと、思っていました。皆さんは、どのような思い出が有りますか？では、準備が出来たら描いてみましょう。

今月のテーマは

「お土産やさんのプルメリア」



描き始める前に：

■絵は、自分の中のイメージを表現する事が大切なので、ハンドペイントの良さを生かして、自由に描いて下さい。文通をされている方は、便箋や封筒に描くと、楽しく可愛いアクセントになりますので、ぜひお試し下さいね。

■このコーナーは、絵画の模写を体験するもので、絵画技法の習得を目指すものではありません。模写（アレンジOK）の投稿を募集中です。当技法についての詳細を知りたい方、また、作品発表等について考えている方は、規定が設けられているため、必ずご相談下さい。

■ボタニカルファインアート技法とパステルアートのコラボレーションで描いていますが、ボールペンや鉛筆等、入手し易い文具で描いて頂いて大丈夫です。ボールペンは、PILOTの細いペン等が推奨されていますが、描きやすいと感じるもので良いと思います。鉛筆は、B以上のもので濃く描くと、質感も柔らかく、描きやすいです。HBやH等ですと、固い質感の為、描きにくいかもしれません。



描き方

■ お花は、丸みを帯びた花弁を5枚描きま
す。花弁の縁になる部分に、花弁の丸みに沿
う様に、線を描き入れてください。

■ 葉っぱは、大きめの長い丸を描くように
描いて、先端は尖らせます。

葉脈は、細かく沢山描き入れてください。

■ 色が塗れる方は、お花の中心を黄色で塗
り、周りに白を残すと、プルメリアらしく描
けます。

いかがでしたか？

福音たより

■カトリック麹町教会（聖イグナチオ教会）より許可を頂き、ホームページのミサ説教を転載させて頂きます。

関根悦雄神父 7月2日（日）ミサ説教（原文ママ）

今日の福音は、私たちにとっても厳しいものと聞こえるでしょう。まず最初に、イエスが使徒たちにこう言います。「わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない」。皆さんどうですか。私たちは家庭の中で親に育てられた。それを思うと、お父さんやお母さんを愛するのは、ある意味当然のことではないでしょうか。しかし、イエスは、家庭的なつながりで愛することより、わたしをもっと愛するよううにと言います。そして、「わたしを愛するときには十字架を担って私についてきなさい」と言うのです。

イエス自身、自分の家庭についてどう考えていたか、皆さんもご存じでしょう。イエス自身は「わたしの母とはだれか」「わたしの兄弟とはだれか」と、家族が会いにきたときに言ったようです。そして、イエスはこのように言います。「わたしの天

の父の御心を行う人が私の兄弟姉妹、母である」。

たしかに、血縁によって、父、母、兄弟姉妹のつながりができますが、イエスは「新しい絆によって、私たちが父、母、兄弟姉妹になる」ということを教えてくれたのではないのでしょうか。非常に厳しい要求であります。このことによって、イエスに従うのかどうか。それによってすべての人との新たなつながりが生まれる。このように私たちに教えているのではないのでしょうか。

ところで今、家庭ということは日本の社会では問題になっていきますね。たしかに昔より、家庭の中のつながりが弱くなってきたかもしれない。しかし血縁関係によるつながりが弱くなった一方、新たなつながりができているのでしょうか。残念ながら、イエスの望むような、イエスを中心にして人と人とがつながっていく現実、まだできていないように思います。

皆さん、ご存じでしょう。旧統一教会でも家庭を大事にしていると言っています。しかし、そこで大事にされる家庭というのは、昔の型の家庭です。日本の国家で考えれば、右翼の人も神道系の人もいます。天皇を中心にしてすべての人が一つの家族になる。でも、私たちの家庭像は違うと思います。すべての人とながつながっています。これが

神の国の実現に向かう家庭像ではないでしょうか。

残念ながら今の古い家庭観からは、人権の大切さは出てこないように思います。そのため、最近の国会で成立した法律、入管法なども途中で変えられてしまった。すべての人に人権があります。ですから、難民と言われる人たちも大切にし、その人たちの人権も認めていかなければならないという世界的な動きの中で、最終的に多数者の立場も守らなければならない。難民を申請していても、はつきりした証拠がなければ認めない。3度提出して認められなければ本国に帰す。帰ったらどうなりますか。その人は殺されることもあるのです。法律によってその殺人を認めるということではないのですか。そのように非常に残酷な排外主義というものが起きている。しかし、イエスの考えはそれでしょうか。しっかり考えなくてはならないと思います。

イエスは「父や母を愛する者はふさわしくない。自分の十字架を担って従わない者は、わたしにふさわしくない」と言います。「自分の十字架を担う」。皆さんこれはどう思いますか。今、十字架がありますか。いろいろ考えられると思いますが、人間的な弱さや自分の欠点などが十字架ではないと思います。十字架というのは、イエスに従って生きようとするとき、福音的な生き方をしようとするとき、それとは違う現実に対して強く抗議したりするとき、そのときそれに反対する外部からの

暴力的な傾向が十字架であると言っていると思います。

十字架を解釈するとき、まず、イエスはなぜ十字架につけられたのか、なぜイエスに十字架が与えられたのですか。イエスが神の国の運動をただ静かにしているだけでは殺されるころまではいかなかったと思います。しかし、本当の神の国を実現するためには、今の現実の社会のおかしなところに対してしっかりと「これではいけないのではないだろうか」とはつきり攻撃したのです。すると、攻撃された方は、このままにしておくと自分たちがますます不利になると思ってしまう。ですから、言論を封鎖する必要があると思います、十字架につけてしまう。

ですから、私たちも十字架を担うときは、まず自分が本当に神の国の福音を生きる。そしてそれに反対する者に「それは、おかしい。それは本当の社会の有りようではない」ということをしっかりと発信していく。そうすると、十字架があるかもしれません。最終的には殺されるかもしれません。十字架が与えられたときには、できるならそれをはねのける努力があってもいいと思いますが、あくまでも福音がすすめる生き方を続ける。神の国の時間を生きる。それを続けて最終的には引き受けて生きていく。これが十字架を担うということではないかと思います。

日本のことを考えてみると、昨日、7月1日はペ

ト口岐部と87人の殉教者の記念日でした。キリシタン時代に、キリスト教が伝えられてから多くの人がキリストに従った道を歩み続け、権力者が「それはだめだ」と言っても変えなかった。そして十字架が与えられて殺されていった。これが日本です。私たちは、今の社会をしっかりと見て、おかしなところにはやはり「おかしい」と言っていくことが、私たちにとって大切なのではないかと思います。

最後に、「わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れる」「わたしの弟子だという理由で、この小さな者の一人に冷たい水一杯でも飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける」と言われています。ここに、イエスの弟子として私たちには何が要求されているのかがしっかりと表されていると思います。「小さな者の一人に冷たい水一杯でも飲ませる」。つまり、必要な人に私たちができることを与える。愛を実行する。これが求められていることだと言っているように思います。

どうか、私たちがこの福音を証しするため、神の国に生きるため、そして神の国を広げていくため、イエス・キリストにしたがって生き、行動し、愛を実行していくことができるように。そういう恵みを今日の御ミサと一緒に願いたいと思います。

李聖一神父 7月23日(日)ミサ説教(原文ママ)

梅雨も明けて、多くの小学校、中学校、高校では夏休みに入ったというニュースが耳に入ってきました。私が育った広島の大園教会という、イエズス会の神父さんたちが司牧活動をしておられた教会では、夏休みに入ると、日曜日のミサの説教も夏休みになり、神父さんたちも説教しないという習慣がありました。



私はその習慣が大好きで、子どものときに神父さんたちの説教を聞いても面白くもないし、わかりもしないしと思ったところに、説教をしないという習慣があつて、ミサもだいたい30分ぐらいで終わりますので、いいなと思っていました。その習慣が、私の中にも身に染みているというか、夏休みになると説教しなくてもいいのではないかなという誘惑が私の中にあるのですが、イグナチオ教会にはそういう習慣がないらしいので、簡単にお話をしようかと思います。

今日のたとえ話、私にとっては自分自身がいつもこういうことに注意しなくてはいけないなと思うたお話です。どういふことかという、私は長く中学、高校で働いていました。30年間働いていましたが、生徒指導部長をやっていたのです。生徒たちは生徒指導部長のことがあまり好きではない。いろいろなことを取り締まられる。男子校だったので、女子高とは違っているのですが、頭髪検査があったり、私がちょうど教壇に立っていたころは、生徒の生活がだいぶ変わってきて携帯電話を誰もが持つようになり、それを学校に持ち込ませるか持ち込ませないかというところで大議論したり、髪の毛を染めてくるとか、耳にピアスの穴を開けるとか、ずっと見ているのです。そして、そのような生徒を捕まえては説教する、時には親を呼び出す。そういったことをやっていたのです。

中高生ですから、学校には校則といいますが、私たちの学校には生徒心得というものがあって、それを参考にしなが、生徒の日常生活を見守っていかねければならないという役割があります。そういったところから逸脱する生徒はいるし、悪さをする人もいるし、時々、警察にお世話になるようなこともあったりしますが、私はそういう生徒とどのように向き合うかというときに、このたとえ話をいつも思い出していたのです。

人間の心の中には、良い麦となぜか悪い麦もあって、そうしたものを見つけたときに、毒麦を抜いてしまおうと言って、その生徒の悪さや問題行動をとがめて、あるいは叱責して、ちゃんとしなきゃダメだと言わなきゃいけないと同時に、そうした毒麦を抜くことに一生懸命になってしまって、良いものまで抜いてしまうことがあるのではないかと、私はこのたとえ話をいつも読み返しながら思っていたのです。

まだ中高生ですから、自分たちが本当にその学校の生徒として、あるいはこの家の子どもとして何がふさわしい行動なのか、何がふさわしい振る舞いなのかをきちんと学んで、それをそのまま自分の振る舞いとする年齢にはまだまだ遠いところがある。だからこそ、いろいろなことを教えずにはいけないだろうと思うのですが、一人ひとりの子どもの中にある良いものまで抜いてしまうほどに罰したりすることに、果たして意味があるかというようなこともたびたび考えさせられました。

それは実は子どもたちだけではなく、私たち自身もそうであって、私たち自身の中に良い麦、悪い麦は育っているといってもいいかもしれない。悪い麦を抜くことに一生懸命になってしまうと、私たちの中にある良いものまでも抜き去ってしまうということもないわけではない。そのようなことを心に留めておかなければいけない。そのさじ加減というのがあって、どの程度生徒

を叱ったり、それなりの対応を取るかということもあるでしょうが、しかし、その生徒に対して逃げ場がなくなるほどの問い詰め方、追い込み方は絶対してはいけないということとは、私は学んだことでもありました。

そして、私たち自身も、毒麦を抜くために、自身をどんどん追い込んでしまう、あるいは、他人を追い込んでしまう、逃げ場がなくなるような対応の仕方は絶対にするべきことではない。そして、そのときその場にあって、ふさわしい振る舞い、ふさわしい生き方、ふさわしい行動というものが一体何であるかということを引きちゃんと見定めて行うことが、実は識別という言葉の意味でもあるわけです。

今日からイグナチオのことを記念してノベナが唱えられますが、イグナチオという人の生涯とその体験というものを通して私たちが学びたいのは、実は識別ということなのです。私たちがそのときその場にあってふさわしい行動は一体何かということです。識別というのは、人生において重大な決断をするときだけに必要なことではありません。日々の生活の中で自分の本当にふさわしい振る舞いは何であるかをきちんと識別するといったことから識別の霊というものを体験することができる。フランススコ教皇もそうおっしゃっていますが、まさにそうだと思います。

この暑い中に電車に乗って、今日は日曜日だから、イグナチオ教会に行ってミサに与らないといけないときに、行きたくないなとか、めんどろだなとか、この暑いのにどんな祈り方だっというじゃないかと、いろいろな思いが働くと思います。そういう中であって、ある意味でいろいろな言い訳をしながら、正當な言い訳もあるだろうと思いますが、そのとき自分にとって、自分の信仰のあり方にとってふさわしいものは一体何であるかということを中心に留めておいて、そこにある識別というものが働くようになっていく。そういった小さな日々の生活の中のいろいろな出来事の中で識別をしていくものだということをイグナチオは教えてくれていると思います。

そういう意味で、私たち自身の中にある良い麦と毒麦を見分けていくことも、注意していかなければならないことだと思えます。とくに夏休み、子どもたちにとっては、非常に豊かな経験ができる時期でもある。そしてまた同時に、自分にとってふさわしくない方向へと導くようなものに会ってしまいう時期でもあります。そういったことを通して、私たち自身がキリスト者としてのふさわしさというものを身につけていくことができますように、ご一緒にお祈りしたいと思います。

育児日記



五十嵐亜利沙ブログ

長男Aが、いきなり「僕、ロサンゼルスで強盗できるかもしれない。ガスマスクをしてガスの玉を何個か投げ、防犯カメラを煙でみえなくして、その間に宝石を盗んで、車で逃走するの。駐車場で車を変えて逃げるの」と言ってきたので、「その宝石をどうやって日本に持って帰るの？空港でばれない？」と聞くと、「そこが問題なのだよね」と言っていました。（笑）



長女Kは、3人仲の良いお友達がいて、B君がC君の悪口を言っていたので、それを聞いたKは、C君が好きだし、嘘をつきたくなくて、勇気を出してC君にB君が悪口を言っていることを伝えたら、B君は、「そんなこと言っていない、Kが嘘をついている」と濡れ衣をきせられていました。私はKに、「罪を認めないで人のせいにする、相手は傷つくということを教えてくれたね。そのおかげでKは、人のせいにしないことを学んだのだから、B君にはありがとって思うのよ」と伝えました。

次女Rは、ディズニーのアリエルが大好きで、夏休みにディズニーシーに行きたいそうです。

三女Mは、いつも喜んでいて、愛に溢れていて、みんなを幸せな気持ちにしてくれます。私は、このように純粹にならないと天国には入れないのか…。と思う今日の頃です。

うなぎを食べたよ。



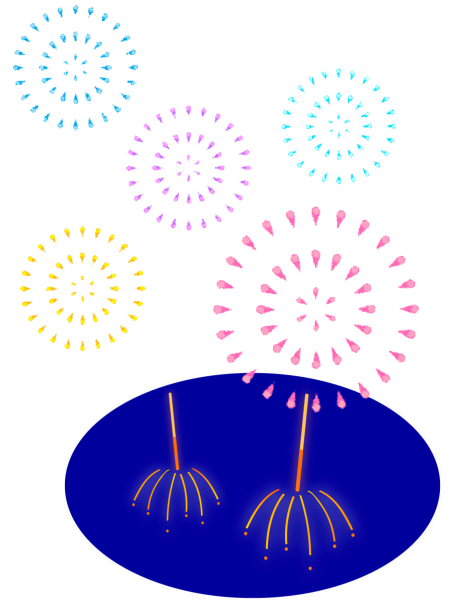
五十嵐亜利沙による ラブリーDAY

マザーハウスのみんなと花火をしました。みんな子供たちを大切にしてくれて、沢山遊んでくれました。

10年ぶりに娑婆にでてきたMさんは、とても優しい笑顔で、その笑顔から心の美しさが伝わります。

私が、「刑務所で神様と出会ったのですか？」と尋ねると、「もう人を傷つけないと思ったので考え方を変えました。」と言っていました。私はその人の優しさをみて、私もMさんみたいに優しくならないと…と学ぶことが多々ありました。

Mさんと出会えたことに、神様に感謝。



masaさん「人生のピース」



5013さん「月が導く異世界」

受刑者の皆さんへお知らせ

○ 移送・出所される方は必ずご一報下さい。
MLP（文通）に参加している方は文通相手へのお手紙のみ出して頂ければ大丈夫です（差出人欄の住所で確認できるため）。

○ お問い合わせが多い内容（例：文通相手の追加を希望したのにまだ決まっていない等）は、返信にかえてお知らせ欄で回答させて頂くことがあります。毎月ご確認頂くようお願い致します。

○ MLP ペア決め現状：文通相手のいない受刑者を優先しておりますが、4か月以上お返事が届いていない受刑者の方は文通相手の追加を承りますので、「文通担当」宛にお手紙お出し下さい（お時間かかる場合があります）。

○ 冊子 NEXT は寄贈終了、サインズは休刊に伴い、たよりへの同封が終了しました。

○ フランシスコ事業部は、会費を全額納付された方のみのご利用となります。フランシスコ事業部を利用しない方は、会費の分納が可能です。なお、マザーハウスに送られた切手やお金は返還できません。あらかじめ資料をよく読み、計画的に送られるよう何卒お願い致します。

○ 会費やフランシスコの費用を切手で納める場合（84 円以上の切手のみ使用可）は、1 枚につき現金交換手数料 10 円がかかります。**※郵便局の価格改訂に伴い、4 月から手数料が 1 枚 5 円から 10 円に変更になりました。**

（例）100 円切手 × 5 枚の場合：
500 円－手数料 10 円 × 5 枚分 ＝
受領額 450 円

○ 下記に当てはまる場合は、事務局までお知らせ頂きたく、宜しくお願い致します。

- ・ 突然たよりが送られなくなった。
- ・ 刑期（出所日）が変更になった。
- ・ 入会申込書もしくは会費を送ってから 2 ヶ月が経過してもマザーハウスから何も届かない。
- ・ 聖書（寄贈された中古のものです）の送付を希望する（送料 800 円分が必要です）。

○ たよりでは、投稿文以外の普段のお手紙から抜粋して掲載することがあります（受刑者の皆さんは、入会申込書に同意欄があります）ので、「掲載してほしくない」というお手紙・絵画につきましては、都度「掲載不可」と明記して頂きたく、宜しくお願い致します。

編集後記 by 編集局

たより5月号掲載のドクターKさんの「更生とは」について多くの返答が寄せられました。たよりが皆様の交流の場となっていることをとても嬉しく思います。ぜひ今後もたよりを活用してください！



マリアコーヒー（ルワンダ・コーヒー）



製造から販売まで、元受刑者が携わっております。※4月1日より価格を改訂させていただきました。

コーヒー（粉）200g …1404 円（税込）

コーヒー（豆）200g …1404 円（税込）

カフェドリップ 10g(1 杯分) …162 円（税込）

継続して購入・販売してくださっている皆様（順不同）

カトリック茅ヶ崎教会／カトリック北仙台教会／カトリック所沢教会／カトリック浜松教会／カトリック東山教会／カトリック布池教会／カトリック菊名教会／カトリック中和田教会／カトリック新子安教会／カトリック碑文谷教会／カトリック桃山教会（平和環境部）／カトリック東仙台教会／カトリック春日部教会／カトリック足利教会／カトリック神田教会／カトリック太田教会／カトリック大分教会／カトリック西千葉教会／カトリック下井草教会／カトリック新潟教会／カトリック多治見教会／カトリック芦屋教会／カトリック鷺ノ宮教会／カトリック松戸教会／ドン・ボスコ社／クリスト・ロア宣教修道女会／日本カトリック神学院／聖母訪問会

ルワンダの祈り



ルワンダでは、1994 年、フツ族によるツチ族の大虐殺がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワン

ダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥りかねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用しております。

マリアの紅茶



オーガニック
純スリランカ産セイロンティー

50g（2g 入り 25 袋）… 1080 円（税込）

マリアコーヒー＆マリアの紅茶のご注文はウェブサイト・メール・FAXにて承っております。

FAX：03-6659-5270



ご注文・ご支援詳細

ラウレンシオ（便利屋業）

元受刑者の就労支援の一環として、不用品処理、遺品整理、掃除などをさせていただきます。お見積りは無料です。

*2020 年 12 月より、株式会社ルツに移行しました。

TEL：03-6659-2110

FAX：03-6659-2180

メール：info@ruth-llc.co.jp

古本募金（きしゃぽん）

書籍やDVDを下記にご寄付頂くと、マザーハウスに還元されます。

送り先：

〒358-0053 埼玉県入間市仏子 916

マザーハウス きしゃぽん係

TEL：0120-29-7000

* マザーハウス事務所への送付はご遠慮ください。

獄中 POST シリーズ

引き継ぎ作業中のため、一時的に活動を中止しております。再開次第お知らせ致します。

ご支援

正会員（一口5000 円／年） 賛助会員（一口3000 円）
社会復帰支援（ご寄付）を随時募集しております。

振込口座名：トクヒ）マザーハウス

郵便振替口：00170-0-586722

みずほ銀行：新宿支店 普通口座 2376980

*info@motherhouse-jp.org 宛に内訳をご送付願います。

洋服等の物資の送付先：

〒130-0024 東京都墨田区菊川 1-16-18-1F

マザーハウス TEL：03-6659-2110

随時ボランティアの方を募集しております。

TEL：03-6659-5260

メール：info@motherhouse-jp.org

マザーハウスたより 2023 年 8 月号

発行日：2023 年 8 月 15 日 発行責任者：原田 昇

〒130-0024 墨田区菊川 1-16-18-3F NPO 法人マザーハウス